

令和8年度第1回大洗町運賃協議分科会 議事録

日 時： 2026/5/11(月)13:30～14:10

場 所： 大洗町役場 3 階会議室

出席者： 海老澤分科会会長、柿本委員、石井委員、山戸委員、小林委員、山田オブザーバー
事務局

大洗町役場まちづくり推進課 松山主査、鈴木係長、佐久間主事
株式会社アルメック

資料： ・次第
・出席者名簿
・席次表
・資料1_運賃協議分科会の運用について
・資料2_町内循環バスの運賃改定について
・資料3_大洗町地域公共交通計画改定(案)等に係るパブリックコメントの結果について
・大洗町運賃協議分科会設置要綱
・大洗町運賃協議分科会委員名簿

1. 開会

2. 委員委嘱

3. 分科会長挨拶

○この分科会は道路運送法第9条に基づき運賃を協議するために設置したものである。10月1日の町内循環バス再編に合わせた運賃改定のために開催した。持続可能性と利用やすさの両面から意見を頂戴できればと思う。(分科会長)

4. 協議事項

議案第1号 大洗町内循環バス再編に係る運賃改定について

○本日は委員7名中5名が出席しており、定足数に達している旨を報告する。(分科会長)

○(資料1について説明)(事務局)

○なお、今回の再編では運賃のみの改定ではなく、ルートやバス停の再編による利便性向上を前提として値上げを行うものとする。(事務局)

○町内循環バスの運行開始から24年間一度も運賃を上げておらず、人件費や物価高騰の中でもこれまで据え置いてきたところである。1日フリー乗車券の500円という案についても、他の観光地と比べれば格安である。運賃をおよそ2倍に値上げする案であるが、収支を見ると、利

利用者数が同じと仮定した場合、運賃を2倍にしても町が1千万円程度負担することになる。利用者には少しでも安く利用したいという意向があると思うが、ルートの再編で買物等に利用しやすくなっており、運賃改定は妥当だと考える。改定に賛成である。(委員)

○町の負担の考え方について、事務局から補足があれば説明してほしい。(分科会長)

⇒委員のご指摘の通り、運賃改定後も町の負担は一定程度ある見込みである。路線バスを補完するコミュニティバスとしての公共性を鑑み、住民の負担を軽減するものである。収支については利用率の向上で持続性に繋げられれば良いと考えている。(事務局)

○小学校への通学利用に対する助成を検討するとあるが、中学校についてはどうか。(委員)

⇒中学校はバス通学ではなく、一部の生徒は自転車通学となっており、バス通学は学校として認めていないため、想定していない。(事務局)

○経費に関連して、再編後の運行経費、収入、収支はどの程度想定しているか。また、現在の小学校への通学利用の人数や助成の負担額はどの程度か。また、1日フリー乗車券は現在どの程度売れているか。海遊号限定から全便利用可になるのはどういうことか。(委員)

⇒収支については1千万円強の赤字と想定している。国のフィーダー補助を活用する予定だが、全路線が対象となるわけではない。運賃値上げ後の利用動向に依るのであくまで想定である。小学校への通学利用については、大洗南小学校においてバス通学児童の名簿を作成しており、以前は50～60名だったが近年は20～30名に減少している。少子化に加え、保護者による送迎の増加がある。名簿にある児童においても、日によって保護者が送迎することもあるため、1日何人がバス通学しているかは学校でも把握していない。助成額についても実際に運行開始し使い方を見てから把握することになる。1日フリー乗車券は、令和7年度は1月末までの10ヵ月間で大人と子どもを合わせて2千枚程度の利用実績となっている。なお、施設で提示された数のカウントである。ほぼ観光客の利用である。令和5年度は2,079枚、令和6年度は2,358枚の利用実績である。全便への拡大については、町南側への観光の選択肢を増やす観点で考えている。(事務局)

⇒外からの来訪者を取り込んで収支改善に繋がると良い。需要があると感じたので、周知の工夫をすると良い。小学校の通学利用への助成について、運賃改定を住民に周知する際に助成の有無が分からないと利用が減る可能性が懸念される。早めに助成内容を決め、周知した方が良い。どのような人がどこでどの程度利用しているのか実態を把握することが重要であり、できれば再編後茨城交通にも協力してもらい実態を把握してほしい。(委員)

⇒大洗南小学校の通学便の利用人数など、運行事業者の茨城交通では集計している数字もある。しかしシステム化がされていないので、通学で具体的に何人とは拾うことはできない状況である。10月1日の再編に際して開始する助成方法や周知方法については、地域公共交通会議後に町学校教育課と早めに調整する。(事務局)

○1日フリー乗車券の値上げについて、町民向けには500円タクシーもあり、観光客向けのレンタサイクルと比べても、妥当な価格だと思う。(委員)

⇒令和6年度より令和7年度は500円タクシーの利用がかなり増えているので、町内循環バ

スと組み合わせて利用してもらえれば円滑な町内移動ができて良いと思う。観光客においてもレンタサイクルと組み合わせて利用してほしい。(事務局)

○現在の海遊号は土日の観光客の利用が多く見えるが、委員から現状について説明してほしい。(分科会長)

⇒運賃の値上げは致し方ないと思う。1日フリー乗車券は今まで2回の乗車で元が取れていたものが3回必要になるため、町にも協力してもらい、説明や周知を丁寧にしていく必要がある。(委員)

⇒もちろん2回しか乗らない利用者も想定されるので、理解していただけるような広報を考えていく。(事務局)

⇒その場で運転手が説明するのは負担がかかるので、チラシ等があると良い。(委員)

○町内循環バスの路線の再編に向けてもう少し細かいデータがあった方が良い。値上げで利用が減少するだけでなく、バス停の増設や利便性向上による利用の増加も見込まれ、合わせてどの程度の利用者数になるのか把握したい。アンケート調査や、運転士による利用者数の記録等、データ収集方法を検討して実施すると良い。(オブザーバー)

⇒運賃改定にあたってシミュレーションは重要である。(分科会長)

○本日欠席の飯田委員、大里委員からは本議案に対し表決書により賛成の意見を頂いている。(分科会長)

○議案第1号について、案の通り承認で良いか。(分科会長)

⇒異議なし。(委員一同)

⇒では承認とする。なお、本分科会の結果はこの後の地域公共交通会議で報告する。(分科会長)

5. その他

なし

6. 閉会

以上